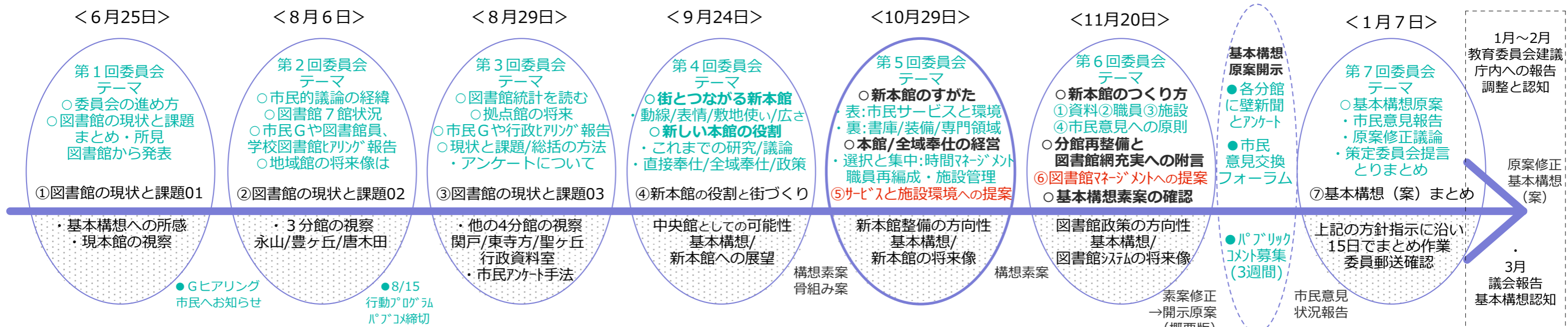


● 策定委員会の構成と進め方について（第五回策定委員会 検討資料）



○ 策定委員会への資料提示（トピックス）の準備／委員会に併行するヒアリングや部会議論 など

■ 図書館員（専門職集団）との・意見交換・課題研究など 策定委員会に職員研究会から意見を届ける。

- △7/7.第1回（話題提供：計画同人）・現状を図書館員が俯瞰議論する。・市民要望を館員から読み解く。  
→ 「地域館/拠点館/新本館の今後」について、図書館員ひとりひとりの考えを策定委員会に届ける。
- △8/4.第2回（講師に松本策定委員）・図書館協議会での議論と意見。・新図書館へ体制の脱皮に。  
→ 「新中央館とは、他市の比較、あり方」について、図書館員としての課題の例示/ワークショップ。
- △9/24.第3回（講師に常世田策定委員）・多摩市の図書館員有志の集まり・どんな日々の努力が大切か。  
→ 図書館員としてどう学び直し、どう変わるか、 図書館員としての課題への向き合い方

△9/24.→ H23「基本方針・運営方針」とH28「読書活動振興計画」を「本館再整備基本構想の基盤」として策定委員会は議論する。

■ 図書館協議会／教育委員会など（連携／政策集団）との 情報提示・意見交換 など

- △7/21.子どもの読書活動推進計画市民連絡会ヒアリング：地域の文庫活動や地域館での活動から図書館を考える
- △8/25.図書館協議会ヒアリング：二度の図書館政策の総括的提言、読書活動推進計画と市民反響後の追加的研究成果
- △8/01.企画政策／総務／教育部門ヒアリング：行動プログラムの更新、財政展望・図書館人事・図書館施策の将来像
- △9/24.→ H22図書館協議会「中央図書館整備のあり方答申」を「本館再整備基本構想の骨格」として策定委員会は議論する。

■ 学校図書館員／行政資料室など（連携／類縁集団）との 情報提示・意見交換 など

- △7/21.学校図書館司書ヒアリング：学校図書館支援、教育支援、支援連携の展開←生徒一人利用密度と資料費.統計
- △7/21.行政資料室ヒアリング：行政施策との連携（行政支援/行政文書受け入れ/チラシポスター/地域資料構築）
- △9/23.学校図書館全体司書会ヒアリング：学校図書館の展望、中央図書館に望むこと、支援と連携について

■ 逐次：中央館開設や今後のサービス方針展開に関わる状況のヒアリングなど（図書館企画運営係ほか）

- △ボランティアの形、グループ状況、全体連絡会、ボランティアコーディネートの展開
- △障害者支援、青少年支援、幼稚園保育園、包括支援センター連携、病院支援、福祉作業所、ビジネス起業支援、（ブックスタート/包括支援との連携/共同参画/本のリサイクル/公民館図書室の展望/ほか、行政施策との連携）
- △広域利用や都市連携、大学図書館連携、公共図書館連絡会、都立との関係

■ ご希望市民グループ／図書館研究市民グループなどとの 情報提示・意見交換 など

- △7/21.多摩市に中央図書館をつくる会ヒアリング：再度、中央図書館はなぜ必要か/図書館友の会への展望/これからの市民活動の連帯
- △8/09.多摩市の地域図書館の存続を考える会（4団体）ヒアリング △8/25.多摩市の社会教育を考える会ヒアリング  
→ 9/24.「公共施設の見直し方針と行動プログラム更新案に対する私たちの意見(パブリックコメント)」が策定委員会に提出される。
- △8/25.多摩おはなしの会ヒアリング、 ○おはなしシュッポポの9月定例会からご意見が届く、
- △9/24.→ 「市政世論調査や各種アンケート」「行動施設の見直し方針と行動プログラム更新案へのパブリックコメント」「グループヒアリング」「説明会意見」など、  
これまでの図書館への市民意見をふまえ、素案への意見も積み重ねて、基本構想素案を策定委員会は議論する。

- 行動プログラム更新への市民意見
- ・7/23関戸市民説明会
- ・8/5 永山市民説明会
- ・8/6 パブリックコメント多摩市民説明会
- ・8/15 パブリックコメント締切
- ・8/31聖ヶ丘市民説明会
- ・10/5唐木田市民説明会
- ・10/13東寺方市民説明会
- ・10/22豊ヶ丘市民説明会

＜10月29日＞  
第5回委員会テーマ

○追加的： ●学校図書館：司書会からの意見  
報告資料 ●行動プログラム説明会と図書館への意見  
●図書館の現況と課題：市民意見等総括表  
●基本構想策定委員会の提言チャート  
●基本構想の構成：骨組み（案）  
●循環ミニバスのアクセス回転検討  
駐車場/駐輪場の想定規模は？

議題01.  
新本館(中央館)の活動と環境のかたち。  
◎委員提言：新しい図書館サービス 常世田委員

協議：○市民の眼からの新本館(中央館)の活動と場は？  
・直接サービスとしては：図書館機能・・・開架規模/席数  
集会展示機能・・・居場所機能・・・  
○職員からの新本館(中央館)の活動と場は？  
・中央館としての設備/装備/収容力  
・全域(アウトリーチ)サービス拠点としては：  
・企画管理庶務/資料構築(開架規模)/参考調査/市民活動支援  
・政策立案/連携の項目として：学校/福祉/老健/医療/業務

議題02.  
新本館と全域奉仕の運営/経営の方向性。  
協議：○図書館歳費(人件費・資料費・維持管理費)前提条件の方向性  
「長期的経常的な歳費増大に抗する政策方針の条件」との整合  
○開館日数と時間(マネジメント再編の可能性)  
○職員体制(本館/分館/アウトリーチサービス/学校支援/夜間増員)  
(正規職員と非常勤職員、司書と一般職：分掌構成)  
○管理運営の弾力性を担保するICTなど  
○市民ボランティアの位置づけ、協働の原則など